

マスコミ関係各位

2016年7月26日

# 明治学院大学法学部 蛭原健介教授の著書 『はじめてのワイン法』がOIV※賞を受賞！

※国際ブドウ・ワイン機構 (The International Organisation of Vine and Wine / L'Organisation Internationale de la Vigne et du Vin)

明治学院大学法学部の蛭原健介教授の著書『はじめてのワイン法』(虹有社 2014年)が、ワイン界において世界で最も権威のある「OIV賞」(catégorie 3 Droit (法学分野))を受賞いたしました。

蛭原教授は、明治学院大学において十数年にわたりワイン法の研究・教育を続け、諸外国のワイン法の比較研究のほか国内のワインメーカー、ワイナリーおよび自治体に対する支援にも取り組んでいます。

国際ブドウ・ワイン機構(ワインとブドウに関する国際機関で、現在45か国が加盟)によって、ワイン産業への貢献と国際的意義を認められた出版物に対して贈られるこの「OIV賞」は、1930年から始まった歴史のある賞で、ワイン界においては世界で最も権威のある賞とされています。

ぜひ取材・告知をご検討ください。どうぞよろしくお願いいたします。

## <蛭原健介教授 プロフィール>



明治学院大学法学部教授。専門は公法学およびワイン法。明治学院大学法学部においてワイン法の講義やゼミを担当。諸外国のワイン法の比較研究のほか、国内のワインメーカー、ワイナリーおよび自治体に対する支援に取り組んでいる。国際ワイン法学会理事。日本ワインを愛する会理事。2013年10月、ブルゴーニュワイン騎士団シュヴァリエ叙任。主な著書に『はじめてのワイン法』(虹有社、2014年)、『世界のワイン法』(日本評論社、2009年)、『フランスAOCワイン事典』(三省堂、2009年)、『EUとフランス——統合欧州のなかで揺れる三色旗』(法律文化社、2011年)、『比較憲法』(ミネルヴァ書房、2012年)、『フレッシュヤーズ法学演習』(中央経済社、2016年)などがある。

## <書籍情報>



- タイトル: はじめてのワイン法
- 内容: ワイン法とは何か? それは、なぜ必要なのか? ワイン法の模範とされるフランスとEUの法律を中心に、その成り立ちと内容を分かりやすく紹介し、日本の現状を考える、ワイン法研究者による、日本で初めてのワイン法の入門書。
- ページ数: 367ページ ■価格: 2400円+税
- 出版社: 虹有社(2014年9月5日) ■ISBNコード: 978-4-7709-0063-0

掲載・取材のお問い合わせは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当: 田村・染川

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>